

# 新型コロナウイルス感染症防止策ガイドライン

大会を開催するにあたりすべての大会関係者は下記内容を遵守してください。

(JSBB 感染予防対策ガイドラインを基に作成しております)

大会を開催するにあたり、下記内容を遵守できない場合は、他者への安全を確保する等の観点から、大会への参加資格の取消及び途中退場を求める場合がございます。

1	各自球場に入る際は必ずマスクを着用すること。 (試合時以外で人との距離を確保できない場合は必ずマスクを着用すること)
2	試合前2日間における以下の状態の者は参加を認めない。 ・平熱を超える発熱(37度5分以上) ・咳(せき)、喉(のど)の痛みなどの風邪の症状がある場合 ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難) ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触者 ・自分または同居人が以下に該当する場合 息苦しさ、倦怠感、高熱等の症状がある場合。発熱や咳等が3日以上続く場合。 味覚・嗅覚障害がある場合 ・検疫所の宿泊施設での待機対象となっている国・地域(以下「指定国・地域」という。)から帰国・入国した方。但し新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種している方は除く
3	試合当日ベンチ入りする全員、および、審判含めた大会運営者は自宅にて必ず検温を実施すること。
4	試合当日37度5分以上の発熱がある場合、会場敷地内に立ち入らないこと。
5	参加チームは大会事務局より配布する「検温シート」にベンチ入りメンバー全員の毎試合当日朝の検温結果を記載し、メンバー表提出時に派遣審判員に提出すること。また、応援者用「検温シート」も同時に提出すること。
6	ベンチ内でもなるべくマスクを着用することを推奨する。ただし熱中症予防に配慮すること。
7	次試合までの待機の際、人との距離を確保すること。
8	距離を確保できない場合は、マスクを着用すること。
9	試合開始時及び終了時ホーム上での整列は行わず、ベンチ前に整列すること。
10	ベンチ内に居る時、距離の確保ができる時、ノーボイスの場合はマスク不要。
11	全選手がベンチ内に留まらず、ベンチ外も利用し、選手同士の距離を確保すること。 (通常ベンチ外は認められないが、特例として認めることとする)
12	参加チームはベンチ内に設置する石鹸もしくは消毒液を持参し、手指の消毒をこまめに行うこと。
13	会場敷地内での唾や痰を吐く行為は絶対に行わないこと。
14	試合中マウンドに集合する際は、グラブで口元を覆い会話すること。
15	肌が触れ合うハイタッチ等は行わないこと。
16	タオルの共用をしないこと。
17	ジャグタンクは使用しないこと。
18	ドリンク等の飲み残しは容器ごと持ち帰ること。
19	試合前後のミーティングでは必ずマスクを着用、もしくは選手同士の距離を確保し、短時間で行うこと。
20	大会期間中に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合、必ず大会本部に報告すること。
21	大会参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合は、必ず大会本部に報告すること。
22	応援者同士の距離を確保できる場合はマスクなしでの観戦を認めるが、距離を確保できない場合は必ずマスクを着用すること。また、大声での声援等は極力控えること。ただし会場管理者が認めない場合は無観客とする。
23	大会参加者に新型コロナウイルス感染症陽性者が確認された場合、参加者名簿を関係機関に公表する場合があることを了承すること。
24	大会期間中緊急事態宣言等が発出された場合は大会を中断する。
25	大会期間中新型コロナウイルス感染症陽性者が多数発生した場合、大会開催を中止する場合がある。